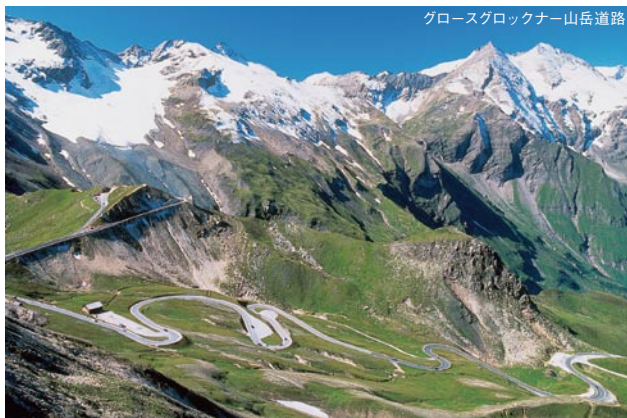


オーストリア最高峰に行く グロースグロックナー

GROSSGLOCKNER



グロースグロックナー山岳道路

標高3798m オーストリアの最高峰のグロースグロックナーは、初登頂以来200年経ったいまでも、数多くの神話と伝説が伝えられていることでも知られています。グロースグロックナーの名称の由来については、山の形が鐘(グロック)に似ていたからだとする説、あるいは金の発掘(ゴルト・クロッケン)に関係があるという説などがあります。

いずれにせよ、グロースグロックナーはたいへん魅力ある山で、今も昔も多くの人々を惹きつけ、オーストリア皇帝もその一人でした。1856年、皇帝フランツ・ヨーゼフ1世は皇妃エリザベート(シィシィ)とともに、この山の氷河を見物に訪れました。ハイリゲンブルートから4時間かけて、皇帝夫妻はひとつの鞍部に達し、ここが「フランツ・ヨーゼフス・ヘーエ」と呼ばれるようになりました。皇帝はこの場所に2時間以上とどまり、オーストリア最大の長さ9.4kmのパステルツェ氷河の眺望をはじめ、グロースグロックナーの偉容に深い感銘を受けたと伝えられています。

フランツ・ヨーゼフス・ヘーエまでは、美しい眺望で知られるグロースグロックナー山岳道路が通じています。1935年に開通したこの道路はホーエ・タウエルン国立公園の中心部を貫くもので、全長20km、最高点の標高2500mに達するまでに、熱帯以外のすべての植物相の中を通ります。道路沿いにはいくつかの博物館があり、この地域の自然の素晴らしさをさまざまな角度から紹介します。グロースグロックナー山岳道路は5月初めから11月初めまで通行可能です(毎日5時~22時、有料)。